

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52309	保育内容と指導法の総合演習Ⅰ (こどもまつりⅠ) Event Management: "Children's Festival" Ⅰ	全教員	専門	1	必修	1年 前期
科目の概要						
<p>「こどもまつり」は、前期から計画を立て、準備し、秋に地域の子どもたちを本学キャンパスへ招いて、保育の実践を行なう活動である。保育内容と指導法の総合演習Ⅱ(こどもまつりⅡ)を履修している2年生とともに取り組む。幼児教育を目指す学生にとって、何よりも求められるのは保育を実践していく力である。実習もその貴重な経験だが、「こどもまつり」は社会全体の課題を視野に入れた保育観の形成と、実際の保育の企画・立案・準備・運営のすべてに至る経験的な学びを修得することを目的としている。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 子どもを取り巻く社会全体の課題を知る。</p> <p>② 実際の保育の「企画・立案」を経験的に学ぶ。</p> <p>③ 保育における「準備」を経験的に学ぶ。</p> <p>④ 保育における「運営」を経験的に学ぶ。</p> <p>⑤ こどもまつりの「振り返り」を行い、課題を見つける。</p>			<p>① 子どもを取り巻く社会全体の課題について説明できる。</p> <p>② 主体的に企画・立案に参加できる。</p> <p>③ 協力しあいながら企画の準備を進めることができる。</p> <p>④ 地域の方々に対して心こもった運営ができる。</p> <p>⑤ 振り返りを通して来年度に向けての課題が発見できる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	各企画の計画をもとに、「主体性」を持って積極的に作業に取り組むことができる。片付けなども自分から進んで行うことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	期限までに、こどもまつりに必要な物を積極的に完成させることができる。				
考え抜く力	課題発見力	創造的な創作活動を進めるなかで、自ら「課題を発見」し、解決策を考えることができる。				
	計画力	期限までに完成できるよう計画を立てることができる。				
	創造力	固定概念に捉われないで、企画別活動をすることができる。				
チームで働く力	発信力	「わからないこと」や「意見」があれば、2年生に理解してもらえるように分かり易くそのことを伝えることができる。				
	傾聴力	人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト: 今までの先輩がこどもまつりの準備のために作成した書類・準備作業の様子・当日の様子を撮影した写真などを参考にする。</p> <p>参考文献: なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連: 保育内容(環境)、児童文化、保育内容(表現)、保育内容(言葉)、保育内容(健康)、造形、幼児音楽表現、幼児体育など</p> <p>資格との関連: 幼稚園教諭免許・保育士資格</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
<p>毎回の作業(企画・立案・準備など)が円滑に進むよう、授業時間外においても、学生同士で十分に連絡をとり合い、綿密な計画を立てようとする。</p>			<p>・2年生との連携に留意すること。</p> <p>・各実行グループで、作業計画に対して遅れがないか確認し、進めること。</p> <p>・必要があれば、その都度補完的に作業を行うこと。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	10	①	✓	子どもたちを取り巻く現代社会の問題が説明できるかを評価する。 (4月、5点) 「振り返り」のためのレポートにおいては、来年度に向けての課題を自分なりに文章でわかりやすく伝えられているかを評価する。 (10月、5点)
		②		
		③		
		④		
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	90	①	✓	(主体性) ・各企画の計画のもとに、「主体性」を持って積極的に作業に取り組むことができる。 ・片付けなども自分から進んで行うことができる。 (実行力) ・期限までに、こどもまつりに必要な物を積極的に完成させることができる。 (課題発見力) ・創造的な創作活動を進めるなかで、自ら「課題を発見」し、解決策を考えることができる。 (計画力) ・期限までに完成できるよう計画を立てることができる。 (創造力) ・固定概念に捉われないで、企画別活動をすることができる。 (発信力) ・「わからないこと」や「意見」があれば、2年生に理解してもらえるように分かり易くそのことを伝えることができる。 (傾聴力) ・人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。 (規律性) ・学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他		①		出席と、主体的な授業参加を評価とする。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
2回以内の欠席である。	3回以内の欠席である。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションをする。 (社会における子どもたちを取り巻く課題とは) ・役員の選出をする。 ・全員の役割分担の検討をする。 ・基本計画案の決定をする ・テーマ選定をする。 ・企画別活動を考える。 	演習 (神谷・谷村・本田)	我々が直面する課題について概観し、こどもまつり全体を理解するとともに、本年度の主テーマを決定し、組織づくりができる。	(復習) 自分の担当する作業の準備を行うこと。	180	主体性 実行力 計画力
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・役員紹介をする。 ・テーマ発表をする。 ・実施計画案を作成する。 ・計画図などの資料説明をする。 ・企画別活動を開始する。 	演習 (神谷・谷村・本田)	各実行グループが保育の研究と実践を分析しながら、目標をたてることができる。企画内容を決定し、計画を立案することができる。	(復習) 自分の担当する作業の準備を行うこと。	180	主体性 実行力 創造力
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・予算執行を開始する。 ・物品購入方法の説明をする。 ・企画別活動をする。 (年間スケジュールの提出) (準備作業) 	演習 (神谷・谷村・本田)	計画に従って役割分担し、準備に取りかかることができる。	(復習) 自分の担当する作業の準備を行うこと。	180	主体性 発信力 規律性
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画別活動をする。 (準備作業) ・実施内容の確認をする。 ・進行状況確認をする。 	演習 (神谷・谷村・本田)	全体の進行状況を確認し、必要であれば修正を加えながら企画別活動ができる。	(復習) 自分の担当する作業の準備を行うこと。	180	主体性 実行力 課題発見力
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画別活動をする。 (準備作業) ・2年生と連絡事項の確認をする。 	演習 (神谷・谷村・本田)	こどもまつり当日に至る具体的な予定を討議し、検討を加え、決定することができる。 2年生の実習中に準備作業ができるように、事前に2年生と連絡・確認をしておくことができる。	(復習) 自分の担当する作業の準備を行うこと。	180	主体性 実行力 課題発見力
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画別活動をする。 (準備作業) ・進行状況の確認をする。 ・こどもまつりリハーサルを行う。 ・こどもまつり本番に参加する。 ・反省会をする。 ・片付けをする。 	演習 (全教員)	役割に従って直前の準備を行うことができる。 こどもまつり当日の運営をすることができる。 終了後には、各グループで反省会を実施し、全体を通した振り返りのレポートを作成することができる。	(予習) 自分が担当する企画別活動のスケジュールを確認し、戸惑うことなく役割を果たすことができるようにしておくこと。 (復習) こどもまつり本番後の振り返りを行うこと。	180	主体性 実行力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52310	保育内容と指導法の総合演習Ⅱ (こどもまつりⅡ) Event Management: "Children's Festival" II	全教員	専門	1	必修	2年 前期

科目の概要
1年生で関わった「こどもまつり」を、Ⅱでは、組織の中心となって、企画立案、準備計画の作成と実施を行う。また、保育実践のまとめとして、保育内容と照らし合わせながら取り組むことによって、これからの保育観を個々の学生が探るプロセスとしても位置づける。

学修内容	到達目標
① 子どもを取り巻く社会全体の課題を知る。 ② 実際の保育の「企画・立案」を経験的に学ぶ。 ③ 保育における「準備」を経験的に学ぶ。 ④ 保育における「運営」を経験的に学ぶ。 ⑤ こどもまつりの「振り返り」を行い、課題を見つける。	① 子どもを取り巻く社会全体の課題について説明できる。 ② 主体的に企画・立案に参加できる。 ③ 協力しあいながら企画の準備を進めることができる。 ④ 地域の方々に対して心のこもった運営ができる。 ⑤ 振り返りを通して来年度に向けての課題が発見できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	各企画の計画をもとに、「主体性」を持って積極的に作業に取り組むことができる。片付けなども自分から進んで行うことができる。
	働きかけ力	
	実行力	期限までに、こどもまつりに必要な物を積極的に完成させることができる。
考え抜く力	課題発見力	創造的な創作活動を進めるなかで、自ら「課題を発見」し、解決策を考えることができる。
	計画力	期限までに完成できるよう計画を立てることができる。
	創造力	固定概念に捉われないで、企画別活動をすることができる。
チームで働く力	発信力	今までの先輩がこどもまつりの準備のために作成した書類・準備作業の様子・当日の様子を撮影した写真などを用いて、1年生に理解してもらえるように分かり易く伝えることができる。
	傾聴力	人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ること
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献
テキスト: 今までの先輩がこどもまつりの準備のために作成した書類・準備作業の様子・当日の様子を撮影した写真などを参考にする。
参考文献: なし

他科目との関連、資格との関連
他科目との関連: 保育内容(環境)、児童文化、保育内容(表現)、保育内容(言葉)、保育内容(健康)、造形、幼児音楽表現、幼児体育など
資格との関連: 幼稚園教諭免許・保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
毎回の作業(企画・立案・準備など)が円滑に進むよう、授業時間外においても、学生同士で十分に連絡をとり合い、綿密な計画を立てようとする。	・1年生との連携に留意すること。 ・各実行グループで、作業計画に対して遅れがないか確認し、進めること。 ・必要があれば、その都度補完的に作業を行うこと。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	10	①	✓	子どもたちを取り巻く現代社会の問題が説明できるかを評価する。 (4月、5点) 「振り返り」のためのレポートにおいては、来年度に向けての課題を自分なりに文章でわかりやすく伝えられているかを評価する。 (10月、5点)
		②		
		③		
		④		
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	90	①	✓	(主体性) ・技術習得のため指示がなくても自ら制作や練習をすることができる。 (実行力) ・期限までに企画別活動に必要な物を仕上げるすることができる。 (課題発見力) ・こどもまつりには何が必要か考えることができる。 ・現状を把握し分析することで課題を発見することができる。 (計画力) ・期限までに完成できるように計画を立てることができる。 (創造力) ・固定概念に捉われないで、企画別活動をすることができる。 (発信力) ・今までの先輩がこどもまつりの準備のために作成した書類・準備作業の様子・当日の様子を撮影した写真などを用いて、具体的に分かりやすく伝えることができる (傾聴力) ・人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。 (規律性) ・学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他		①		出席と、主体的な授業参加を評価とする。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
2回以内の欠席である。	3回以内の欠席である。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションをする。 (社会における子どもたちを取り巻く課題とは) ・役員の選出をする。 ・全員の役割分担の検討をする。 ・基本計画案の決定をする。 ・テーマ選定をする。 ・企画別活動を考える。 	演習 (神谷・谷村・本多)	我々が直面する課題について概観し、こどもまつり全体を理解するとともに、本年度の主テーマを決定し、組織づくりを行うことができる。	(復習) 自分の担当する作業の準備を行うこと。	180	主体性 実行力 計画力
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・役員紹介をする。 ・テーマ発表をする。 ・実施計画案を作成する。 ・計画図などの資料説明をする。 ・企画別活動を開始する。 	演習 (神谷・谷村・本多)	各実行グループが保育の研究と実践を分析しながら、目標をたてることができる。企画内容を決定し、計画を立案することができる。	(復習) 自分の担当する作業の準備を行うこと。	180	主体性 実行力 創造力
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・予算執行を開始する。 ・物品購入方法の説明をする。 ・企画別活動をする。 (年間スケジュールの提出) (準備作業) 	演習 (神谷・谷村・本多)	計画に従って役割分担し、準備に取りかかることができる。	(復習) 自分の担当する作業の準備を行うこと。	180	主体性 発信力 規律性
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画別活動をする。 (準備作業) ・実施内容の確認をする。 ・進行状況確認をする。 	演習 (神谷・谷村・本多)	全体の進行状況を確認し、必要であれば修正を加えながら企画別活動ができる。	(復習) 自分の担当する作業の準備を行うこと。	180	主体性 実行力 課題発見力
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画別活動をする。 (準備作業) ・1年生と連絡事項の確認をする。 	演習 (神谷・谷村・本多)	こどもまつり当日に至る具体的な予定を討議し、検討を加え、決定することができる。実習中で企画別活動に参加できない場合は、準備作業ができるように、事前に1年生と連絡・確認しておくことができる。	(復習) 自分の担当する作業の準備を行うこと。	45	主体性 実行力 課題発見力
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画別活動をする。 (準備作業) ・進行状況の確認をする。 ・こどもまつりリハーサルを行う。 ・こどもまつり本番に参加する。 ・反省会をする。 ・片付けをする。 	演習 (全教員)	役割に従って直前の準備を行うことができる。こどもまつり当日の運営をすることができる。終了後には、各グループで反省会を実施し、全体を通した振り返りのレポートを作成することができる。	(予習) 自分が担当する企画別活動のスケジュールを確認し、戸惑うことなく役割を果たすことができるようにしておくこと。 (復習) こどもまつり本番後の振り返りを行うこと。	180	主体性 実行力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

